

こっこめ通信 11 2022

「タヌキモ見つけた」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

島でも 10 月に入り北寄りの風が吹きわたるようになり、本格的な秋の気配を感じるようになりました。ススキの穂は出そろい、そろそろイソギクも咲き始めます。冬鳥の猛禽類などもよく見かけるようになりました。

さて今号は「偶然見つかった新しい仲間と 10 月に行った行事」に関するお話です。

タヌキモって面白い！

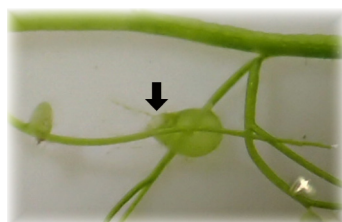


都道脇の変な場所に、ホテイアオイがすくすくと成長していました。前々から気になっていたもので、車から降りて近くに寄ってみると、根元に緑の素麺のような水草がありとても気になり、調べてみることにしました。

するとどうやら、タヌキモの仲間だということがわかりました。しかも、タヌキモは水生食虫植物だということもわかりました。その一風変わっていて理にかなっている面白い捕食術を紹介します。(M.K.)



もっそりしていた中から一枝取り出すと、こんなにヒヨロンと。



ほちゅうのう
捕虫囊です。↓部分はドアのようになっていて内側に開きます。



可愛らしい花を咲かせていました。マツバウンランに似ています。

＊どんな風に獲物を捕らえる？『タヌキモ捕食の瞬間！』



① 普通、捕虫囊が空っぽの時はぼっそりとしています



② ミジンコやボウフラがセンサーのヒゲに触れると…



③ ドアが内側に開き流れ込む水流と共に獲物が吸込まれます



④ 獲物が入った捕虫囊は膨らみやがて消化されていきます…

注) 親しみやすいように擬人化しています。 実際は光合成が主栄養源です。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

芸術の秋！学びの秋！

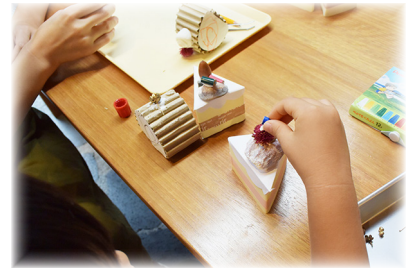
「いっしょに作ろう！秋色ケーキでパティシエごっこ」10月3日（月）開催 3組6名参加



ハサミ上手に使えるよ！



どれにしようかな～？



こだわりのデコレーション



未就学児と保護者を対象として開催している「一緒に作ろう！」シリーズ。今回は3組6名の方が参加してくれました。牛乳パックや段ボールのリユース材をスポンジケーキに見立て、木の実や貝殻など、解説員が自然のフィールドで集めてきた材料でデコレーションを施す、秋色ケーキの製作です。

テープを貼ったり剥がしたり、クレヨンやハサミを使ったり。小さいお子さんには少し難しい作業は保護者の方と協力して進めます。デコレーションする材料を選ぶ時の、みなさんのうれしそうな顔がとても印象的で、それぞれのこだわりが光る素敵な秋色ケーキが完成しました。(A.G.)

八文学講座「渡り鳥観察会」

10月22日（土）開催 3名参加

舞い降りた天使「ハクセキレイ」



海鳥を探しても見えず、魚が跳ねた



岩に隠れていた「ムナグロ」



毎月第四土曜日に開催している八文学講座、10月は島に渡ってきた鳥をみんなで観察する「渡り鳥観察会」でした。たくさんの鳥が南原スポーツ公園のサッカー場に降り立ち、その鳥たちをみんなで観察する予定でしたが、サッカー場には『1羽も鳥がいない！』というオチ。(数日前から鳥が来ることを祈ったのですが…)

渡り鳥や留鳥の定義などを説明していた所、どこからともなくハクセキレイが参加者の前にフワリと降り立ち、じっくり観察することができました。「ありがとう！ハクセキレイ！」

その後、歩いて海岸に出ても鳥は見当たらず（キハダマグロが跳ねた）、一度集合場所へ戻り各々の車で大潟浦園地へ移動することに。海岸沿いにいた3羽のムナグロと1羽のイソシギを観察していた所、ハシブトガラスに追われて15羽のムナグロが目の前に舞い降りました。「ありがとう！ハシブトガラス！」

他に観察できた渡り鳥は、逆光で真っ黒に見えたハヤブサのみ。留鳥は、ヒヨドリ、イソヒヨドリ、キジバトも見られました。懲りずに1月は「冬鳥を見よう！」を開催します。(H.T.)

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の「八丈植物公園季節調査会」は公園の西側を巡る A コース。開催予定の 10 月 9 日は、2 名の参加申込みがありましたが大雨のため中止としました。代わりに 10 月 17 日、スタッフ 2 名で調査を行っています。このコースはシダの種類も豊富で見晴らしもいいので調査をしていて楽しく回れました。

植物公園季節調査（2022 年度第 7 回）10 月 17 日実施 A コース 調査者：VC 沖山、木下

①徳里山麓			28	カタバミ	花	シダ植物	
1	ハゼノキ	実	29	カラムシ	実	1	アマクサシダ
2	ツルグミ	蕾	30	キツネノマゴ	花	2	イシカグマ
3	トベラ	実	31	コミカンソウ	実	3	ウチワゴケ
4	モチノキ	実	32	コニシキソウ	実	4	オオイタチシダ
5	シマモクセイ	蕾	33	サカキカズラ	実	5	オオタニワタリ
②ブーゲン広場			34	シチトウトウエビヅル	実	6	オニヤブソテツ
6	オオシマザクラ	落葉	35	シチトウスミレ	閉鎖花	7	カニクサ
③旧花木園			36	シマナガバヤブマオ	実	8	シチトウハナワラビ
④バードサンクチュアリ			37	シマクサギ	花	9	タチクラマゴケ
⑤南エントランス			38	ススキ sp	花	10	タチシノブ
7	サクノキ	葉	39	セイタカアワダチソウ	花	11	タマシダ
8	カラスザンショウ	葉	40	セイヨウタンポポ	花	12	トラノオシダ
⑥徳里山			41	センニンソウ	実	13	ナチシケシダ
⑦林間広場			42	チチコグサモドキ	花	14	ノキシノブ
9	シマクサギ	花	43	チヂミザサ	花	15	ハチジョウカナワラビ
⑧メインエントランス			44	ツバキ	実	16	ハチジョウシダ
10	アオキ	実	45	ツルソバ	花	17	ハチジョウベニシダ
11	アオツツラフジ	花	46	ツユクサ	花	18	ハマハナヤスリ
12	アオノクマタケラン	実	47	テイカカズラ	蕾	19	ヒトツバ
13	アキノノゲシ	花	48	ナガエノコミカンソウ	実	20	ヘラシダ
14	アシタバ	実	49	ノジスミレ sp	閉鎖花	21	ホシダ
15	アメリカスズメノヒエ	花と実	50	ハチジョウアザミ	花	22	ホラシノブ
16	イガガヤツリ	花	51	ハチジョウキブシ	花芽・実	23	マツバラン
17	イヌビワ	実	52	ハチジョウシュスラン	花	24	マメツタ
18	ウスベニニガナ	花	53	ハマコンギク	蕾	25	ミゾシダ
19	ウリクサ	花	54	ヒナギキョウ	花	26	ヤマイタチシダ
20	エダウチチヂミザサ	花	55	ヒメムカシヨモギ	実	今回はシダ植物 26 種を含む 87 種の植物を観察しました。芝生にはベニセンコウタケの紅い色が目立ち、アカコッコの声も 2 箇所を確認できました。	
21	オオアリドオシ	実	56	ヒメヨツバムグラ	実		
22	オオバコ	実	57	フウトウカズラ	実		
23	オオバヤシャブシ	実	58	ヘクソカズラ	実		
24	オオムラサキシキブ	実	59	ホルトノキ	実		
25	オニタビラコ	花	60	メヒシバ	花		
26	オニドコロ	実	61	ヤブニッケイ	実		
27	ガクアジサイ	実					

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「セイタカアワダチソウ」にスポットを当ててみたいと思います。



セイタカアワダチソウ *Solidago altissima*

キク科アキノキリンソウ属。北アメリカ原産の多年草。日本には明治時代に観賞用として導入されたと言われています。

八丈島でも近年目立って増えてきていますが、今年は潮枯れを起こすほどの風が無かったので、花がきれいに咲いているため、特に目立っているようです。増えすぎて困っている外来種ですが、群生して咲いている様子は見惚れるほど圧巻です。

2022
11

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		1 ●	2	3 ガイドウォーク	4	5 ガイドウォーク
6 ガイドウォーク	立冬 7	8 ○	9	10	11	12 ガイドウォーク
13 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	14	15	16 ●	17	18	19 ガイドウォーク
20 ガイドウォーク	21	小雪 22	23 ガイドウォーク	24 ●	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「海岸散歩」
27 ガイドウォーク	28	29	30 ●			

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
11 / 13（13：30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

八丈学講座 「海岸散歩」

毎月行っている八丈学講座。クジラを探しながら自然観察をしたり、海岸で楽しんじゃいましょう！
11 / 26（13：30～ 約1時間半）
中学生以上 南原スポーツ公園（予定）集合・解散 参加費：50円 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、（10：30～約1時間） だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち

11：00～ おじゃりやれ 八丈島

14：00～ おじゃりやれ 八丈島

15：00～ おじゃりやれ 八丈島

16：00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.11.1 第258号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

E-mail：info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

新しく見つかった水草「タヌキモ」の捕食シーンを動画でお見せできないのが残念です。10月12日には「トチカガミ」という水草が
ホタル水路や泉親水公園見つけたり、こちらも初記録となっています。一体、どのように島にやってきたのでしょうか？ （M.K.）